

2023年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科／ヴォーカリストコース											
音楽基礎A 1											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	田熊 知存			実務経験	有	職種	アレンジャー				
担当教員紹介											
幼少の頃からエレクトーン・Jazzピアノを習い、コンクールで優秀な成績を収める。様々なアーティストのサポート演奏や楽曲提供を手がけており、幼い頃に影響を受けたDisney音楽のような歌心がありファンタジックな曲の制作を得意とする。											
授業概要											
ボーカリスト、シンガーとしてのスキルを向上させる。1. 正しい発声法を学ぶことにより、ピッチコントロールがうまくできるようになる。2. 喉の筋肉を鍛え、喉や体の正しい使い方を学ぶことにより、長く歌っても枯れづらい喉を作る。3. リズムやグルーブ、声の出し方などのニュアンスを学び、表現力を身につける。											
到達目標											
自分の理想とするボーカリスト、アーティストに近付き、プロの現場でも通用する技術、姿勢を身につける。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
授業方法											
オンデマンド2回→対面授業を設け、1トピック3回で回していく。分からないところをそのままにしておかないために、対面授業の前の回であらかじめ質問を収集し、対面授業において質問が多かったトピックから説明し、再度確認できるような時間を作る。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な姿勢									
履修上の注意											
生徒が持つ個性を大切に、そこをどううまく活かしていくかを念頭に指導していく。各学生が目指しているところが違うため、まず到達点をどこにするのか(シンガーソングライターなのか、またそれはどういうスタイルのものか)等、細かくを密に話し合いながらレッスンを進めていく。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	レベルチェックを兼ねたテストを行う										
第2回	音符、記号、調号、五線等、意味を理解する										
第3回	音符、記号、調号、五線等、意味を理解し、実践で確認する、										
第4回	これまでのテストを行い、理解を深める										
第5回	音程（2音間）										

2023年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／ヴォーカリストコース	
音楽基礎A 1	
第6回	コードをトライアドで理解する
第7回	これまでのテストを行い、理解を深める
第8回	スケールを学ぶ（＃ ｂ 3つまで）
第9回	スケールを学ぶ（＃ ｂ 5つまで）
第10回	これまでのテストを行い、理解を深める
第11回	ダイアトニックコード（キーCメジャー）を理解する
第12回	ダイアトニックコード（キーC）で機能、さ k k 7 よ p
第13回	これまでのテストを行い、理解を深める
第14回	メロディを作ってみる
第15回	全体のまとめ、テスト